

特集

『食べるということとは…』

～長良川ふるさと体験キャラバンから学ぶ「食べる喜び」～

「食べる」ってどんなことなんだろう？ そうやって聞かれたら、みなさんならどう答えますか？ 今回の特集テーマは、ズバリ「食」です。毎年大人気の「長良川ふるさと体験キャラバン」に参加した子どもたちや現地スタッフのみなさんといっしょに、「食べる喜び」について考えてみましょう。

【制作協力/郡上八幡 山と川の学校】



現地スタッフのリーダー
“おやし”こと
加藤孝士さん

「いただきます」にはこんな意味が・・・

どんな生き物も、ほかの生き物の命をもらって生きている。人間だって同じ。「いただきます」は、「命をいただきます」という意味だ。命から命へのバトンタッチ、これがすばらしい。食べるということは「明日につながる」ということなんだ。

だから、食べ物をむやみに残すな。それが、命をくれたもの達にできるせめてものことじゃないか。

食べるということは
「明日につながる」
ということ
(おやし)

あまごさばき

夏キャラバンでは、全員があまごさばきに挑戦します。ぴちぴち跳ねるあまごに包丁をあてるときのまなざしは、どの子も真剣そのもの。

さばいたあまごは、翌日の朝食のおかずに。まさに「命をいただきます」を



実感する瞬間です。もう誰も、「気持ち悪い」なんて言いません。



サポーターのお兄さんといっしょに、あまごさばきに挑戦！

今までは何も考えずに食べていました。殺すのはかわいそうと思うけど、命をいただくのだから、しっかりさばいて、大事に食べようと思う。これからも、残さず食べるようにしたいです。

おやし直伝の食事作法



- みんないっしょに「いただきます」「ごちそうさま」
くるまざ ふんいき
- 車座になって食べる。昔の大家族の雰囲気を再現したいから。
- はじめは少なく盛りつけて、全部食べきる。米粒一つ残さないこと。
- おかわりは、自分の分を全部たいらげてから、食べることが出来る分だけ。

輪になって食べることで、和が生まれるんだよ。



